



DP1 社会生活を営む上で、多様な文化や背景を理解、意見を交わすことができる知識とコミュニケーション能力を有している。

DP2 グローバル社会に対応でき、身体的・精神的な健康情報を把握し、必要な行動を示すことができる自己管理能力を有している。

DP3・4 柔道整復学領域の知識と技術および態度、それを適切に活用できる実践力と責任感、倫理観を有している。一般常識を大切に考え、社会や障がいのある人に対して、積極的に健康管理・医療・スポーツなどを介しながら貢献できる能力を有している。

年次 学部のステップ 学部共通セミナー 教養科目 社会人としての教養を身に付ける 専門基礎科目 医療人としての基礎知識を身に付ける 専門科目 柔道整復師としての基礎知識と応用力を身に付ける 専門科目臨床実習 臨床施設での実習

カリキュラムマップ

健康医療スポーツ学部

柔道整復学科

(H25年度～H29年度入学生)

● 必修
○ 選択

DP1 社会生活を営む上で、多様な文化や背景を理解し、意見を交わすことができる知識とコミュニケーション能力を有している。

DP2 グローバル社会に対応でき、身体的・精神的な健康情報を把握し、必要な行動を示すことができる自己管理能力を有している。

DP3 柔道整復学領域の知識と技術および態度、それらを適切に活用できる実践力と責任感、倫理観を有している。

DP4 一般常識を大切に考え、社会や障がいのある人に対して、積極的に健康管理・医療・スポーツなどを介しながら貢献できる能力を有している。

国 家 試 験

